

令和2年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	05	01	02	154010	就労支援事業費
総合計画	分野	01	しごと	政策	06 雇用環境の充実
	施策	01	職業人材の育成		
目的	雇用の安定のため、若年者や高齢者等の求職者支援を行う。				
対象	求職者、新規学卒者、概ね35歳未満の若者、高齢者、失業者、UIJターン者				
意図	就業できる				
事業概要	ジョブカフェはなまき運営 15,326千円 求職者に対するキャリアカウンセリング、セミナー、講習会等の実施 シルバー人材センター事業補助金 15,639千円 花巻市シルバー人材センター事業補助金 花巻雇用開発協会支援 697千円 花巻雇用開発協会負担金 既卒卒者等就業支援 2,000千円 うち花巻市UIJターン者就業奨励金、花巻市移住支援金 その他 350千円				
市民参画の有無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛
		補助・助成	委託		
活動指標		単位	区分	H31	R02
1	ジョブカフェはなまき新規登録者数	人	計画	220.00	220.00
			実績	225.00	217.00
2	シルバー人材センター受託事業件数	件	計画	5,000.00	5,000.00
			実績	5,633.00	6,308.00
3			計画		
			実績		
成果指標		単位	区分	H31	R02
1	ジョブカフェはなまき新規登録者数に対する就職率	%	目標	30.00	45.00
			実績	57.60	53.40
2	シルバー人材センター会員数	人	目標	800.00	700.00
			実績	754.00	729.00
3	UIJターン者就業奨励金を活用して市内に就職したUIJターン者数	人	目標	13.00	14.00
			実績	8.00	4.00
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり	
				目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
ジョブカフェはなまきの新規登録者に対する就職率は、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、適切な支援を行ったことにより、前年度比で増加した。シルバー人材センター会員数については前年度比で減少したものの、新規会員加入促進のための事業のPRやホームページによる情報発信を行ったことから目標値を上回る結果となった。UIJターンの促進については、企業訪問等を通じて周知を図ったことで徐々に本制度がUIJターン者や市内事業所に浸透してきているものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により採用を見送るなど雇用情勢に波及したことから、目標値に届くレベルにまで至っていない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	若年者のみならず、高齢者雇用も市が主体となって雇用拡大に取り組む必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	PR活動、就職に関する情報等の提供、新規の受託事業の掘り起こし、独自事業の展開を継続することで、雇用拡大につなげて成果の向上を図る。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の事業費で運営しており、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	求職者すべてにおいて利活用可能な事業であるため、適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	ジョブカフェはなまきによる求職者に対するセミナーや講習会の開催等の適切な支援を通じて、若年者の雇用機会の確保が図られた。また、地域社会の活性化に寄与している花巻市シルバー人材センターに対する支援によって、高齢者の就業機会の拡大が図られた。
	次年度に向けて	市内事業所の安定した雇用確保を図るために、機会をとらえて事業所及び移住希望者に対して情報提供を行いながら、UIJターン者の就業を奨励していく必要がある。また、雇用機会の確保のため、関係機関と連携した継続した就労支援が今後も必要である。

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	05	01	02	154020	技能人材育成事業費		
総合計画	分野	01	しごと	政策	06 雇用環境の充実		
	施策	01	職業人材の育成				
目的	酒造技術者の育成と技能者の養成のため、南部杜氏協会と花巻職業訓練協会の支援を行う。						
対象	南部杜氏協会の会員、技能職種の職業訓練を必要とする者						
意図	酒造技術が伝承され、技能職種人材の雇用促進が図られる						
事業概要	酒造技術者育成支援 670千円 南部杜氏協会が実施する杜氏講習会及び杜氏後継者育成事業に係る事業補助金の交付 南部杜氏協会支部支援 272千円 (1) 花巻支部0千円 (2) 大迫支部232千円 (3) 石鳥谷支部0千円 (4) 石鳥谷東支部40千円 南部杜氏協会各支部に対する事業補助金の交付 花巻職業訓練協会支援 2,154千円 花巻職業訓練協会が実施する技能職種人材の育成に係る事業補助金の交付 その他経費 108千円						
市民参加の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	酒造大学修了生	人	計画		30.00	30.00	
			実績		26.00	21.00	
2	長期訓練科目数	件	計画		4.00	4.00	
			実績		5.00	5.00	
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	花巻市内の杜氏資格選考試験合格者数	人	目標		1.00	1.00	
			実績		1.00	0.00	
2	長期訓練受講生	人	目標		20.00	20.00	
			実績		17.00	15.00	
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
酒造技術の育成、継承及び研鑽に係る酒造大学や夏季酒造講習会を継続して実施してきたが、杜氏資格選考試験受験者のうち花巻市内在住者はいなかったことから、今年度は花巻市内在住者で杜氏資格選考試験に合格した方は0名だった。 花巻職業訓練校に係る長期訓練科目数は、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの前年度比横ばいで推移したが、コロナ禍により事業主が訓練生の派遣を見送るなどの影響が波及し、長期訓練受講生は前年度比で減少に転じた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	伝統的に継承されてきた日本酒の醸造技術の確保と継承者育成のため、また、ものづくりの基礎となる重要な分野での職業訓練であることから、市の関与が必要である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	優れた南部杜氏の技術を継続的にPRし、後継者を発掘する。また、時代のニーズを注視し、職業科目を見直ししていくことで、訓練生の増加を見込める。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	技能職の確保・育成の観点から現行の補助金水準の維持が必要であり、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	補助金の他は、会員の会費、事業主負担金で運営されており、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	南部杜氏協会への事業補助金交付や育成事業に対する支援によって、南部杜氏の酒造技術の確保と後継者育成を図られた。また、花巻職業訓練協会に対する事業補助金交付や施設修繕に係る支援を通じ、職業能力開発の推進や地域産業を下支えする技能職種人材の育成が図られた。
	次年度に向けて	花巻市内在住者で杜氏資格選考試験合格者を輩出するため、南部杜氏協会への支援を通じて酒造技術の育成、継承を図る。花巻職業訓練協会に対する事業補助金交付や施設修繕に係る支援を通じ、職業能力開発の推進や地域産業を下支えする技能職種人材の育成を図るほか、受講生増加のため市の広報やHP等で積極的な情報発信に努める。

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	05	01	02	154050	職業人材育成事業費
総合計画	分野	01	しごと	政策	06 雇用環境の充実
	施策	01	職業人材の育成		
目的	市内高校生、大学生等の地元企業への就業定着率の向上を図るため、関係機関等の連携体制を構築し、就業促進・定着促進事業を実施する。				
対象	求職者、新規学卒者、高齢者、失業者				
意図	就業できる				
事業概要	職業人材の就業を促進するための事業 3,364千円 職業人材就業促進業務委託 インターンシップ促進助成事業 76千円				
市民参加の有無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛
		補助・助成		委託	
活動指標		単位	区分	H31	R02
				R03	
1	市内事業所説明会の開催	回	計画	1.00	0.00
			実績	3.00	2.00
2	インターンシップ促進助成金を活用し学生が訪問した市内事業所数	事業所	計画	10.00	10.00
			実績	9.00	3.00
3			計画		
			実績		
成果指標		単位	区分	H31	R02
				R03	
1	市内事業所説明会参加者数	人	目標	250.00	250.00
			実績	318.00	121.00
2	インターンシップ促進助成金交付件数	件	目標	25.00	25.00
			実績	35.00	8.00
3			目標		
			実績		
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり	
				目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により企業説明会やインターンシップの中止や延期を余儀なくされるなか、市内事業所説明会については感染防止策を講じたうえで事業内容を再構築し、市内2校のみで実施したため、対前年度比で参加者数が減少した。また、コロナ禍でインターンシップが中止又は延期されたことが影響し、交付件数が減少した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	関係機関との連携体制を構築し、就業率・定着率の早期向上を図るためには、市の積極的な関与が必要である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	事業所や学校には参加しやすい環境を整え、参加者を増やすことで成果が向上する。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の経費としている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内在住または市内事業所の就労者、市内事業所を希望する人、市内全事業所・高校・大学等を対象としていることから、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	コロナ禍で企業説明会等が減少するなか、市内高校生や大学・専門学校生に向けて市内の事業所を知っていただくため、市内事業所の紹介動画を作成し、就業意識の向上を図った。また、作成した動画を活用して、市内高校生向けの市内事業所説明会を実施し、121名の生徒に市内事業所の周知をすることができたことから、生徒の市内事業所に対する理解が図られた。大学・専門学校生のインターンシップに要する経費を助成する制度を引き続き実施し、市内企業へのインターンシップの促進と就業機会の創出を行った結果、8名の利用実績があり、インターンシップに参加した学生の市内事業所に対する理解が図られた。
	次年度に向けて	新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も企業説明会の開催が減少することが想定される。そのため、就職活動が本格化する前に市内事業所の事業内容を紹介する動画等を作成し、周知を図る。インターンシップ促進助成金は、企画旅行を利用した費用を対象に含めるなど、学生がさらに利用しやすくなるよう制度を見直す。

令和2年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	05	01	02	154120	失業者支援事業費		
総合計画	分野	01	しごと	政策	06 雇用環境の充実		
	施策	01	職業人材の育成				
目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業主都合により失業した方に対して一律に10万円の見舞金を支給。						
対象	新型コロナウイルス感染症の影響で事業主都合により失業した方						
意図	新型コロナウイルス感染症の影響を受け失業した方の生活を支援するもの。						
事業概要	失業者生活見舞金 7,800千円 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業主都合により失業した方に対して一律に10万円の見舞金を支給						
市民参画の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03
1				計画			
				実績			
2				計画			
				実績			
3				計画			
				実績			
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03
1				目標			
				実績			
2				目標			
				実績			
3				目標			
				実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
扶助費であることから、成果指標を設定しなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	新型コロナウイルス感染症の影響により失業した方の、再就職までの生活を守る必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	再就職までのつなぎの資金としていただくことで、心に余裕を持った就職活動が可能となる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の見舞金であり、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民のうち事業主都合で解雇または雇止めとなった方を対象としており、要件を満たす方であれば誰もが制度を活用することができるため、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	新型コロナウイルス感染症の影響により失業した方に対し見舞金を支給することで、再就職するまでの生活支援が図られた。
	次年度に向けて	新型コロナウイルス感染症の影響が継続するものと見込まれることから、雇用情勢等を見極めつつ、ハローワーク等の関係機関と連携し、本制度の周知に取り組む。